

SUB (座屈拘束ブレース)

国土交通省 NETIS

No : TH-110015-A

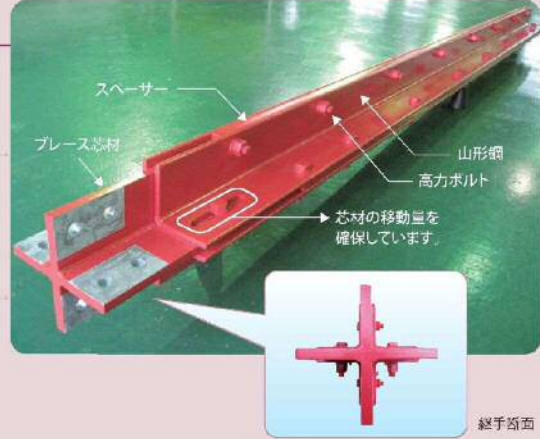
❖ 軽量でエネルギー吸収能力に優れた制振デバイス

SUBの概要

SUBは、地震時のエネルギー吸収量が多いため、構造物の内蔵型ダンパーとして用いられます。

SUBは芯材（低降伏点鋼・普通鋼材）を山形鋼で座屈拘束した、軸降伏型の履歴型ダンパーです。

拘束材の山形鋼同士は、芯材板厚より厚いスペーサーを挟んで、高力ボルトで締め付けブレース芯材の全体座屈を防止しています。



特長

> 優れたエネルギー吸収能力

鋼板芯材は山形鋼とアンボンド化して拘束されているため、芯材材質のエネルギー吸収能力をそのまま発揮します。

> 優れた施工性

すべて鋼材で構成されているため、断面がスリム化でき、軽量型ブレースとして施工できます。

> 安定した性能発揮

すべて鋼材で構成されるため、品質のばらつきが少なく、安定した復元力特性を発揮します。

> 幅広い荷重領域に対応

芯材は平板断面と十字断面で設計できるため、低軸力から高軸力(10,000kN)まで幅広い荷重領域に対応できます。

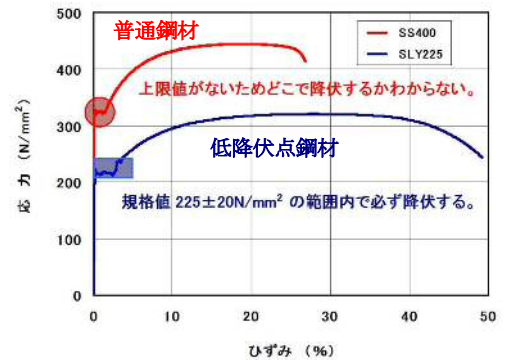
都市部検討例

- 都市部等、景観を重視したさまざまな外観ニーズにも対応できます。

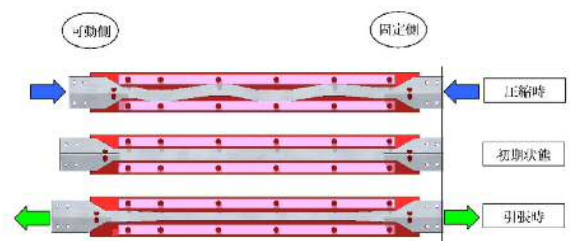
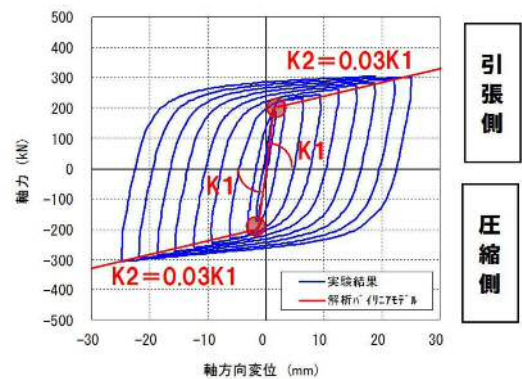


*防錆仕様は、溶融亜鉛めっき HDZ55 (550g/m²以上) が標準になります (適用規格 JIS H 8641)。外観色のご要望がある場合は、この上に指定色の外観塗装を行います。

普通鋼材と低降伏点鋼材の違い



履歴特性例



芯材降伏後の状況図

SUB 設置事例

SUB 設置部材



アーチ橋【既設置換え】



上路アーチ橋支点部【新規に設置】



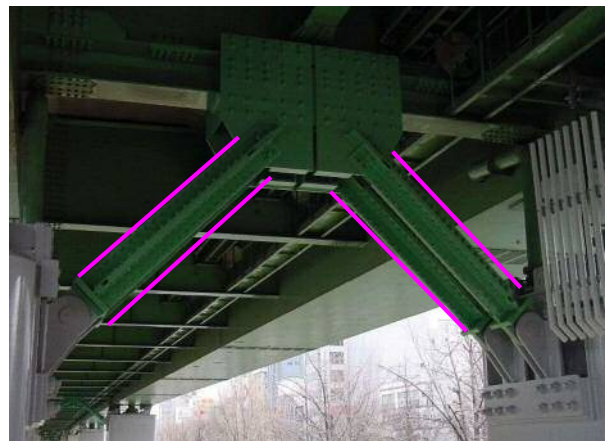
方杖ラーメン橋【既設置換え】



トラス橋【既設置換え】



門型鋼製橋脚【新規に設置】



桁橋支点部【新規に設置】

お問い合わせ



株式会社 横河住金ブリッジ

鉄構エンジニアリング営業部

東京営業 Gr 〒273-0026 千葉県船橋市山野町47-1

TEL : 047-410-3202

大阪営業 Gr 〒541-0048 大阪市西中央区瓦町4-3-7

TEL : 06-6203-8032